

高専通信

NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY(KOSEN), TOMAKOMAI COLLEGE



Vol.
171

新入生へ贈る言葉

各副校長ご挨拶

新留学生紹介

卒業生・修了生へ贈る言葉

令和7年度進路状況

TOPICS



2026年6月発行

苫小牧工業高等専門学校

〒059-1275 苫小牧市字錦岡443 苫小牧工業高等専門学校 総務課総務係
[URL] <https://www.tomakomai-ct.ac.jp> [MAIL] pub_info@tomakomai-ct.ac.jp

苦小牧工業高等専門学校、創造工学科入学生百七十二名、外国人留学生四名、創造工学専攻入学生二十一名、計百九十七名の皆さん、ご入学、誠にありがとうございます。

教職員一同、そして本校をご支援くださった方々と共に皆さんを心より歓迎いたします。

保護者の方々、ご家族の皆様方におかれましては、本日入学式をお迎えになられご子弟の姿を誇らしく見ていらっしゃると思います。ご入学を心よりお慶び申し上げます。ご来賓の方々におかれましてはご多忙の中、本校入学式へご列席を賜り深く御礼申し上げます。わが校のシンボルは校歌にもある樽前山です。けさも冠雪が春の光に輝く雄大な姿を見せてくれています。私も苦小牧生まれ、苦小牧育ち、この樽前山のたなびく煙を日々見ながら成長しました。学生諸君も学校の行き帰りに校門から仰ぎ見る樽前山が青春の心象風景になることと思います。

工業高等専門学校は実践的、創造的技術者を養成することを目的とした十六歳から二十歳まで五年一貫で学ぶ高等教育機関です。本科では大学卒業に匹敵する高いレベルの専門教育を教育・研究者である教員から受けます。本科を卒業すると準学士の学位を、さらに二年間の専攻科を修了すると大学卒業と同じく学士の学位が授与されます。

皆さんが十五才という感性豊かな若い年齢においてエンジニア専門教育を行うこの工業高専の道を選んでくれたことに大きな期待を寄せています。我々教職員一同は、一生懸命、皆さんの学びを一人一人導いて参りますので安心して進んでください。分らないことや心配なことがあれば、一人で悩まずに担任の先生や相談室の先生方、カウンセラー、先輩方、教職員に遠慮なく相談してください。

さて、苦小牧高専は一九六四年四月に設置され、本年、開校六十二年を迎えました。国立高専は全国で五十一校ありますが、公立三校、私立四校を入れると高専は全部で五十八校、計六万人の学生が学んでいます。この六万人全員が皆さんの仲間です。しかし、この数は全国の高校の生徒数二百九十万人と比べるとわずか二％に過ぎません。それ故、皆さんが社会から大いに期待され大切に育てられていること、特に苦小牧市からは本日、金澤市長もご列席いただれていることからわかり、我々のことを本当に大事してくれています。このことを忘れないでください。ところで、高校生は『生徒』と呼ばれますが、高専生は『学生』と呼ばれます。これは高専が大学と同じ高等教育機関だからです。『学生』とは『自主的・自律的に学ぶ者』を指します。高専生は自ら積極的に学ぶ姿勢と

自主的に行動することが求められます。お蔭様で高専卒業生は産業界や実業界から非常に高い評価を得ています。正に皆さんは我が国、そして地域の宝といえます。しかしこの高い評価は先輩方が長年に掛けて築いてきたものです。ですから皆さんはその自覚をもつて常日頃から自主・自律的に勉学に励み、節度をわきまえた日常生活を送っていたいただきたいと願います。ここで、わが校を含め高専には高校の様な細かな校則はありません。大学と同じです。今から百五十年前、北海道大学の前身、札幌農学校の副校長として招聘されたクラーク博士はそれまでの学校の規則を撤廃し、一言『Be Gentleman（紳士たれ）』と言いました。細かな校則は無くとも自己の良心に従い自ら律して行動しなさいという意味です。しかしながら、皆さんはまだ十五・六歳の未成年です。保護者の方々におかれましてもお子さんの身なりや言動、SNSの使い方などを日々見守っていただければ幸いです。

さて、我が国は少子・高齢化が急速に進んでいると同時に働き方や産業構造が日々大きく変化しています。今や産業界は専門知識に加え、問題解決能力に長けたDX・GX人材を求めています。昨年度から稼働している千歳のラピダスに象徴されるように高専の教育は先進技術に直結しています。我々もその要請に答えられる人材育成を行うべく、例えば、二年前から全ての学生に対し文部科学省で認証を得た数理・データサイエンス・AI教育プログラムを実施すると共に、本年度から専門の系を機械・都市・環境・応用化学・生物そして電気・電子系と情報・化学系を統合して情報エレクトロニクス系の四系にして教育を行っています。また、グローバルエンジニア人材育成プログラムなどを通して海外展開を行い、学生を積極的に海外へ派遣して国際性の涵養を進めるなど毎年、教育をアップデートしています。しかし我々、工学を学ぶ者にとって最も大切なことは、技術を通して人々の暮らしを豊かにして人類の幸せと平和を築き、地球環境の保全に貢献するという全世界共通の意志です。苦小牧高専の教育理念である、豊かな人間性および自主自律の精神を育成し、技術者に必要な知・徳・体のバランスのとれた成長を促し、社会の発展のために活躍できる人材を育てる。『はこれらのことを言っているのです。教職員一同、皆さんのことをいつも気にかけて、学びをしっかりサポートしていきますが、一番肝心なのは皆さん自身の新しい知識や技術を貪欲に学ぶ姿勢です。諦めずに最後まで乗り越えようとする努力です。』

この五年間は楽しみや充実感ばかりではなく、いろいろな悩みや苦しいこともあるでしょう。アンジェラアキの、手紙／拝啓15の君への歌詞に「人生のすべてに意味があるから恐れずにどうかあなたの夢を育てて『Keep on Believing』とあります。自信を持つて言えますが、苦小牧高専は君たちがやりたいと思うことは何でも実現できる環境が整っています。各種マシン、分析装置、コンピューター、ソ

フトウェア、3Dプリンター、体育館、グラウンド、優秀な指導者などなど、どうか自分自身の無限の可能性を信じて前向きにチャレンジしてください。それが自己実現につながっていきます。

最後に、私の座右の銘「念ずれば花開く」を贈りたいと思います。『できる』を信じて続けていけば道は自ずと開けます。

皆さんが楽しく充実した学生生活を送られ、今日の仲間達と全員揃って卒業・修了の日を迎えられることを心より祈念し、式辞といたします。

令和八年四月七日

苦小牧工業高等専門学校 長野克則



在 校 生 か ら の メ ッ セ ー ジ



5年1組
伊藤陽世

新入生の皆さん、苦小牧高専へようこそ！寮生の皆さんとは同じ棟で顔を合わせる機会も多いと思いますが、これからよろしく願います！

私が所属する機械系は、材料力学や流体力学といった「機械を作る・動かす」ために必要な専門科目に加え、機械工学実験や機械設計製図などの実践的な演習があります。とはいえ、1年生のうちは自分がどの系に向いているのか分からない人も多いと思います。そこでこの1年間、創造工学の授業で行う全系の体験授業を大切にし、先輩の話も聞いて、「これやってみたい！」「楽しそう！」「と思える系に出会ってほしいです。

高専で一番大切だと思うのは、「勉強で困ったときに、いかに人に頼れるか」です！先生や同級生に聞くのもよし、先輩に頼るのもよしです。過去問をもらったときは、お礼も忘れずに！（高専の自販機は安いので、エナドリを買ってあげると喜ばれます）

ぜひこの5年間で、自分の「やりたいこと」を見つけてください！応援しています！

苦小牧高専へ入学おめでとうございます。

ここでは、これから皆さんが都市・環境系で学ぶ内容や学校生活の魅力を紹介します。授業では構造や水、地盤など幅広い分野を基礎から学び、実験や実習を通して理解を深めていきます。また、仲間と協力して課題に取り組む機会が多く、自分で考え行動する力が自然と身につきます。部活動や学校行事も充実しており、学年を越えたつながりができるのも魅力です。これからの五年間は長いようであつという間です。失敗を恐れず挑戦し、自分なりの目標を見つけてください。皆さんの学生生活が充実したものになることを願っています。一緒に頑張りましょう。

入学直後は新しい環境に戸惑うこともあるかもしれませんが、先生や先輩がしっかりサポートしてくれます。分からないことは遠慮せずどんどん質問してください。友人との出会いを大切にしながら、自分のペースで成長していきましょう。

充実した5年を過ごしてください。



5年2組
菊池里玖

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。学校や寮には慣れてきましたか？ 高専に入った動機は初心として大切に心に保管しておいてくださいね。

高専は校則が少なく、夏休みと春休みが約1カ月半と長いです。自由度が高い分、そこには責任も伴います。学生としての自覚を持って勉学に励むと同時に、残りの自由な時間をどう使うかが重要です。遊びや部活、バイト、旅行、留学、スキルアップ、地域活動など、ぜひ様々なことに挑戦し、学生の特権を使い倒してください！高専にはやりたいことを実現できる環境と時間があると思います。そこで得た行動力や人とのつながりは一生ものです。

応用化学・生物系では、目に見えない小さな分子が起こす化学反応や性質を座学と実験を通して学びます。化学は現象の本質的な理解や、化粧品、食品、新材料の開発に繋がるところが魅力です。

5年間は短いようで長いので、15歳から20歳までの変化を楽しみましょう！それぞれの目標に向かって努力するみなさんを心から応援しています。



5年4組
高山歩心

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！高専での生活には少し慣れてきましたか？ 系選択は今後の進路の方向性に大きく影響します。自分が特に学んでみたい専門分野は何か、そして将来どのような仕事に就きたいのかをよく考えて選択することが大切です。また、数学や物理は特に知識の積み重ねが大切なため、苦手な範囲は早く克服すると、これから増え続ける専門科目の勉強も少し安心です。

私が所属している電気電子系では、半導体の内部構造や静電気の原理、そして発電設備等について基礎から応用まで幅広く学ぶことができます。

この学校は、挑戦する機会がたくさん散らばっているので、是非積極的に様々なことに挑戦し、経験を積んでください。

皆さんが充実した日々を送れるよう、心から応援しています。



5年5組
池田光聡

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。90分という少々長い授業時間や、寮生活、部活動など高専特有の新しい環境にはもう慣れてきたでしょうか。

1年生の間は一般科目が多く、授業を受けるのが面倒だと感じてしまうこともあるかもしれません。しかし、1年生の時期は将来の「専門系選択」に直結する非常に重要な期間です。「創造工学」で行う系体験や、先輩たちの話も参考にしながら、4つの系の中から自分が一番興味のある分野を見つけ出してください。そして、第一希望の系へ進むという目標を達成できるよう、日々の勉強に全力で取り組んでほしいと思います。

一方で、部活動や高専祭といったイベントでは、時には新しいことに挑戦しつつ、今しかできない経験を最大限に楽しんでください。そこで築かれる先輩・後輩や同級生との体験は、貴重な思い出になるはずです。

皆さんが充実した学校生活を送れるよう心から応援しています。



機械系 助教
小島伊織

令和8年4月より機械系の助教に着任いたしました小島伊織(こじまいおり)と申します。

3月までは室蘭工業高校にて5年間教諭として勤務し、座学から実習まで幅広い授業を担当してきました。こうした教育経験を通じて、学生が自ら考え、手を動かし、試行錯誤を重ねながら成長していく姿から、私自身も多くの学びを得ることができました。高専でも、学生一人ひとりが主体的に学び、技術者としての基礎力と応用力を身につけられるよう、丁寧な指導と学びやすい環境づくりに努めてまいります。

専門分野は、光計測を用いたヒト皮膚の研究です。光学的手法による生体表面の非侵襲評価は、医療・福祉分野をはじめ、製品開発や品質管理など多様な領域に应用可能性を持つ分野です。これまでの研究で培った計測技術やデータ解析の知見を活かしながら、今後も基礎研究と応用研究の両面から探究を深めていきたいと考えております。

機械工学は幅広い分野とつながり、社会のさまざまな場面で必要とされる学問です。学生の皆さんには、知識や技術を身につけるだけでなく、「なぜそうなのか」「どう応用できるのか」といった視点を大切にしながら学びを深めてほしいと思っています。私自身も皆さんとともに学び、成長していけることを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。

総合自然科学系 准教授
須藤 絢



このたび苫小牧工業高等専門学校に着任いたしました須藤絢(すどうしゅん)と申します。これまで10年間、函館工業高等専門学校において数学や英語を担当してまいりました。また、それ以前には青年海外協力隊としてタンザニアおよびザンビアにて教育活動に携わったほか、広島県の私立学校でも教員として勤務しておりました。

研究面では、アフリカの生徒がなぜ数学が苦手なのか、その詳細を明らかにするために基礎的な計算力や思考の特徴に着目した教育研究を行っています。アフリカに興味のある学生は是非研究室まで遊びに来てください。また、魚の鮮度保持技術に関する研究や海洋教育に関する実践的な取り組みも行っています。海や魚、釣りが好きな学生も、是非お声掛けください。

大事にしていることは、メリハリをつけるということです。勉強するときはする、遊ぶときは遊ぶ。勉強することはとても大切なことですが、しっかり遊ぶということもとても大切なことだと考えています。大いに学んで大いに遊んでください。まずは苫小牧高専に慣れ、色々と学び、そしてこれまでの経験を生かし、学生一人ひとりに寄り添える教員となっていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

新任教員 ご挨拶

鹿児島出身ですが、なぜか北海道に来てしまった谷口です。

本校では3年前から非常勤講師として勤務していましたが、昨年9月に室蘭工業大学の辻寧英先生の下で学位を取得し、同年10月より情報エレクトロニクス系・電気情報システムコースの常勤教員として働いています。現在の専門は電磁界解析や最適設計です。

私は興味の向くままに進んできたため、少し個性的なキャリアを歩んでいます。

鹿児島大学時代は奥田哲治先生の下で材料系の研究に従事し、卒業後は神奈川にある光通信モジュールの設計開発・製造を行う日本オプネクスト(現・日本ルメンタム株式会社、CIG Photonics Japan株式会社)で、約10年間、設計開発、生産技術、法務知財などの技術者として勤務しました。

その後、7年前に夫の転職で室蘭に移り、無線通信分野の大学研究室で約3年間研究員として働き、再び研究の世界に戻りました。4年前からは、光導波路や電子デバイスの電磁界解析・最適設計を専門とする辻先生に師事し、学位取得後も引き続き共同研究を行っています。

このように、これまでさまざまな分野に触れてきました。本校でも分野の垣根を設けず、学生の皆さんと一緒に興味のある方向へ進んでいきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



情報エレクトロニクス系 准教授
谷口美緒

情報エレクトロニクス系 助教
大川 創



令和7年10月より、情報科学・工学系(情報エレクトロニクス系)に着任いたしました大川創(おおかわはじめ)と申します。私は本校の卒業生で、本科卒業後に室蘭工業大学、同大学院へ進学し、博士(工学)の学位を取得し、教員として戻ってまいりました。

在学中はポピュラーソング部の活動に熱中していましたが、4年生で学んだ情報数学をきっかけに研究の道を志すようになりました。情報数学に触れる中で、課題解決のために、どのように考え方や戦略を組み立てていくのかを考える面白さを知りました。この経験が、現在の研究や教育に対する姿勢の原点です。

現在は、情報数学の手法を用いて、AIの内部でどのように知識や概念の関係が形成されているのかを理解する研究に取り組んでいます。

私自身が高専での学びを通じて熱中できるものと出会えたように、授業や研究、クラブ活動等での指導を通じて、学生の皆さんにも勉強の中にある面白さや、自分が夢になれるテーマを見つけるきっかけを提供できればと思います。そして、学生それぞれの興味や個性を大切に、あなただけの力を存分に発揮できるよう支援したいと考えています。

どうぞよろしくお願いいたします。

今年度も引き続き学生主事を務めます近藤(都市・環境系)です。学生主事補の大島和浩先生(応用化学・生物系)、鈴木修平先生(総合人文科学系)、多田光宏先生(総合人文科学系)とともに、学生会行事、課外活動の補助などを行い、学生のみなさんが充実した高専生活を送ることができる学校環境づくりを目指したいと思っています。また、学生の窓口となる学生課、保健室、学生相談室などの部署や4、5年生のピアサポーターとも協力・連携しながら、みなさんをサポートしていきます。

本年度も、学生会行事として春季・冬季体育大会、高専祭などが予定されています。さらに、道内・全国高専体育大会、各課外活動における大会への参加など、学業とともに、学生の今だからこそできることを精一杯楽しんで活動して欲しいと思います。

よりよい学校を目指すためには、学生のみなさん、教職員だけではなく、保護者のみなさまのご理解とご協力も必要となります。何卒、よろしくお願いいたします。



副校長(学生主事)
近藤 崇

昨年度に引き続き今年度も寮務主事を務めることになりました佐藤森(応用化学・生物系)です。寮務主事補の島田宏行先生(都市・環境系)、原田恵雨先生(情報科学・工学系)、時田紗緒里先生(総合人文科学系)とともに、寮生活全般の指導を行っています。4月6日に新入寮生61名(1年生男子46名、1年生女子11名、3年生男子留学生4名)を迎え、今年度の学生寮は男子寮203名、女子寮65名でスタートしました。多くの新入寮生にとっては初めて親元から離れ、さらに慣れない集団生活に緊張や不安の中過ごしているものと思われます。教職員一同、規則正しい寮生活を送れるようにサポートを心がけてまいります。

本校の学生寮は集団生活を通して多くの仲間とともに様々な経験を得ることのできる重要な場であると考えています。今年度も多くの行事等を予定しており、入寮生は日々の寮生活を通じて豊かな人間性を身につけられることを心より願っております。しかしながら、各種感染症の影響が皆無となった訳ではありません。引き続き、寮生、保護者の皆様をはじめ関係各位におかれましては、ご理解とご協力をお願いいたします。



副校長(寮務主事)
佐藤 森

今年度も引き続き、研究主事・専攻科長を務めます応用化学・生物系の甲野裕之です。今年度も、副専攻科長の工藤彰洋教授(電気電子系)、渡邊智准教授(応用化学・生物系)とともに、専攻科教育の一層の充実に努めてまいります。専攻科・創造工学専攻には1年生21名、2年生22名、計43名が在籍し、一般・専門科目のほか、学外研修やマネジメント演習／アントレプレナーシップ演習など、実務体験を重視した教育を幅広く展開しています。また、地域連携活動やものづくりを通じて、コミュニケーション能力や創造性を育む取り組みも着実に進めています。研究主事としては、地域・企業との連携強化や若手教員の研究支援を推進するとともに、学生が研究の魅力に触れる機会の拡充を図り、研究と教育が相互に高め合う環境づくりを一層進めていきたいと考えております。本年度も、皆様の温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副校長
(研究主事・専攻科長)
甲野裕之



GREETINGS

各副校長 ご挨拶



昨年度に引き続き副校長(総務主事)及び創造工学科長を務めます八田茂実です。昨年度ご協力いただきました保護者アンケートでは、本校の「国際交流」および「情報発信」に対するご意見をいただき、課題が明確となりました。これを受け、本年度は組織体制を刷新し、改革を推進していきます。まず、国際交流事業を強力に加速させるため、本年度より「国際交流センター」を独立組織として設置いたしました。総務主事の職務からは切り離し、専門組織が中心となって学生のグローバルな活躍を支援します。また、広報活動においても情報発信の頻度と質を向上させ、本校の活動をより透明性高くお届けする所存です。

本年度は「自己点検評価」の実施年にあたります。総務主事補である土居茂雄教授とともに、学内の諸システムを見直し、安全で効率的な教育環境の構築に尽力いたします。

最後に、保護者、同窓生、地域の皆様におかれましては、引き続き本校の教育改革と学生の成長を温かく見守り、ご支援賜りますようお願い申し上げます。



副校長(総務主事)
八田茂実

昨年度に引き続き教務主事を務めます松田奏保(総合人文科学系)です。教務主事補の長澤智明教授(総合自然科学系)、松尾優子准教授(都市・環境系)、山本椋太准教授(情報エレクトロニクス系)と共に、本校の教育環境がより良いものになるよう尽力して参ります。今年度より、電気電子系と情報科学・工学系を「情報エレクトロニクス系」に融合し、1学科5系から1学科4系へと改組しました。「情報エレクトロニクス系」では、これまでの2つの系の強みを生かした教育課程を編成し、今後の日本の産業界を支える高度情報人材の育成を目指しています。

また本校では専門系に関わらず全ての学生に対して、AI・データサイエンスの知識や技術の習得、世界で活躍するための国際性、自ら課題を見つけて解決できる汎用的能力の育成など、社会のニーズに対応した教育を行っています。

これからも学生の未来を見据えながら教育の充実を図るとともに、苫小牧高専で学んだ学生たちがその知識、技術、人間力を基に社会で活躍できることを願っています。保護者、地域、同窓生の皆様におかれましては、今後とも本校の教育へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副校長(教務主事)
松田奏保

日本での生活

3年3組 クコ

はじめまして、インドネシアから来たクコです。現在、苫小牧工業高等専門学校で勉強しています。

ここは私の国と比べてとても寒く、最初は少し大変と感じましたが、その一方で自然の景色がとても美しく、魅力的だと思います。

日本語はまだあまり分かりませんが、先生や友達がやさしく教えてくれて、たくさんの新しいことを学んでいます。毎日がとても楽しいです。

日本での生活は大変なこともあります、その分、自分も成長できていると感じています。これからいろいろなことに挑戦していきたいです。

これからもっと日本語を上手になって、たくさんの人と交流していきたいです。



新生活

3年2組 ソル

モンゴルからの新しい挑戦、はじめまして。モンゴルのウランバートルから来ました、ソル バヤルです。

私は小さい頃から、道路や橋などの大きな構造物を作ることに興味がありました。日本の優れた土木技術を学び、将来は母国モンゴルの発展に貢献したいと思い、苫小牧高専に入学しました。初めて日本に来たときは、言葉や文化の違いに不安もありましたが、先生方やクラスメートが温かく接してくださるおかげで、少しずつ学校生活に慣れてきました。

苫小牧市は自然が豊かで、空気がきれいなところが印象的です。北海道の冬は本格的に寒くなると聞いていますが、モンゴルも寒い国なので、雪の景色がどんなふうになるのを楽しみにしています。

これからは土木工学、特に道路・橋梁分野の専門知識を一生懸命に学び、社会の役に立つ技術者になりたいと考えています。日本語はまだ勉強中ですが、積極的にコミュニケーションを取り、多くのことを吸収したいです。苫小牧高専での経験を大切にしながら、自分の夢に向かって努力していきます。これからどうぞよろしくお願いします。



人生は続く：日本版

3年5組 イルハム

皆さん、はじめまして。私はマレーシアから来た留学生のイルハムと申します。

4月1日に新千歳空港に到着し、小川さんと先輩に迎えていただきました。その時、とても優しく温かい印象を受けました。

苫小牧市の紹介を聞き、とても良い町だと感じましたし、まるで自宅にいるように安心できる素晴らしい場所だと思いました。高専に入学してからは、チューターやクラスメートと出会い、楽しく話をして友人になることができました。

また、高専の先生方は学生のことをとても大切にしてくださり、寮生活や食事、勉強など、さまざまな面で気を配ってくださいます。日本のことをよく知らない留学生の私でも、安心して生活することができています。

高専での生活にはまだ慣れておらず、四季の変化や天候の違いに驚いています。また、日本語での会話が難しく感じることもあります。これらは自分が取り組むべき課題ですが、家族や友人、先生方や先輩の支えによって、自信を持って頑張っていきたいと思います。

今後は、日本語能力試験N1に合格し、熱心な学生として学校に貢献しながら、良い友人関係を築きたいと考えています。そして、日本の大学へ進学することが、苫小牧高専を卒業するまでの3年間の目標です。

日本の友人や学校の皆さんのおかげで、ここはまるで自分の家のように感じられます。これからは日本の文化や伝統についてもさらに学びたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いします。



タイ高専から来た新しい留学生、ゴテンです

3年4組 ゴテン

こんにちは。ゴテンです。タイ出身で、タイ高専から来ました。これから3年間、苫小牧高専で勉強します。

新千歳空港にタイから直行便の夜のフライトで到着したときの第一印象は、天気がとても良いということでした。タイのように暑くなく、「すべてがうまくいきそうだ」と感じました。苫小牧の自然や天気的美しさにとても驚きました。先生や友達についてですが、日本人のみんなはとても親切です。特にチューターや担任の先生はとても優しく、勉強や生活のことまでいろいろ助けてくれます。この学校がとても温かく迎えてくれていることを嬉しく思います。日本に留学する理由は、長期間海外で勉強しながら新しい言語を学ぶという新しい経験をしたいからです。

もう一つの理由は、より良い将来のためです。趣味は友達とゲームをすることとアニメを見ることです。興味があることは宇宙や宇宙にある物体、そして航空宇宙技術です。将来の目は、自分の興味のあることを学べる大学に進学することです。

もう一つの大きな目標は、日本語を流暢に話せるようになることです。最後に、苫小牧高専に来られてとても嬉しいです。皆さんに出会えて嬉しいです。よろしくお願いします。



第1学年担任からのメッセージ

創造工学科11期生の皆さん、入学おめでとうございます。入学から2ヶ月弱、きっと苫小牧高専での学校生活にも(良くも悪くも)慣れてきたのではないのでしょうか。

改めて、4月に皆さんを迎えた第1学年の担任団を紹介します。

- 1組：金野幸吉(教科：数学)
- 2組：野村雄紀(教科：地歴公民)
- 3組：河野友哉(教科：国語)
- 4組：上場一慶(教科：物理)
- 5組：多賀 健(教科：保健体育)

学級担任を中心に、授業担当教員など全教職員が一丸となって、皆さんの学校生活を指導・支援してまいります。

さて、今年度は木曜日・午前の「創造工学I」が皆さんの高専初授業となりました。その「創造工学I」の初回授業で、Society 5.0の説明があったのを記憶しているでしょうか。簡単に言うと、情報社会の次のステージということでした。ただ、今はSociety 5.0そのものを云々したいわけではありません。素朴な感覚としても、今の時代・社会が変化の激しいものであることは、おそらく誰にとっても頷けることではないでしょうか。

ここで、私からは「不易と流行」という言葉を掲げたい。元々は、俳諧と呼ばれる日本文学の用語で「新しさを求めて変化していく流行の中にこそ、実は永遠に変わることのない不易の本質が存在していて、不易と流行とは根元において一つである」という意味になります。とはいえ、ここでは「いつまでも変わらない本質的なものを大事にしつつ、新しい変化も取り入れる」ぐらいの、ごく一般的な意味で考えてください。

本校は技術者を育てる学校です。皆さんがこれから習得する技術は、この変化の激しい時代・社会を生き抜くための武器になります。しかし、変化の激しい時代・社会であるからこそ、「不易」=いつまでも変わらない、大事なものをしっかり身に付けてほしい。それは、基礎学力、学習習慣、生活習慣、目的意識、協調性、問題意識……など。「多様性」が標榜される昨今にあっては古くさく感じられるかもしれませんが、こういったものは、いつ



の時代にあっても、いかなる社会にあっても、絶対に必要とされます。そうした「不易」の力を身に着けた上で、自身の持つ技術を武器に、新たな社会を作り上げていってほしい、それが教員としての願いです。

学生自身はもとより、保護者の方においてもまだまだ心配ごとは尽きないものと拝します。学習面では、中学校よりも内容は高度に、さらに進度も速くなります。生活面でも、本校には親元を離れて学生寮や下宿で生活している学生も多く、あるいは通学生であっても、小・中学校に比して通学時間も行動範囲も一気に広がってきます。学習面・生活面ともに学級担任がきめ細かく見守り、家庭との連絡も密に行って、情報共有をしていく所存です。何卒ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

最後に、5年間という時間は長くも短くもあります。これからの5年間の中で、出会いと別れ、挑戦と失敗、成功と挫折……そういった浮き沈みを何度も何度も繰り返しながら、少しずつ人は成長していきます。新入生皆さんのこれからの学校生活が光り輝くことを期待して、稿を結びたいと思います。

第1学年担任代表
河野友哉

学生会の紹介

学生会長 機械系5年 直江芯太郎

令和8年度学生会長の機械系5年直江芯太郎です。学生会では、対面式や高専祭などの行事の企画・運営と、学生総会を中心とした学生会運営を行っています。皆さんに行事を楽しんでいただけるよう、執行部は高学年から低学年まで、毎年企画・立案や当日の運営に熱い気持ちをもって取り組んでいます。

意外と知られていませんが、学生会は学生全員が会員であることをもって成立しており、執行部だけでは運営することができません。高専祭は学生の皆さんがそれぞれ楽しめるよう工夫したイベントや展示がたくさん詰まっており、苫小牧高専の行事の良さを体現していると考えています。執行部は、そんな行事をみなさんが快適につくりあげられるよう取りまとめ、企画や運営に取り組んでいます。

行事の運営の他にも、道内他高専との意見交換や、部活動の監査・予算管理など多岐にわたる活動をしています。学生が快適な生活を送るためにも、多くの方が学生会活動に協力していただけるととても嬉しいです。1年間よろしくお願いします。



情報エレクトロニクス系の設置について

苦 小牧工業高等専門学校では、先進的な情報技術を活用し、企業や産業分野において先導的な役割を担える人材、ならびにデジタル・半導体産業の製造現場において実践力を発揮できる技術者の育成を目的として、令和8年度より「情報エレクトロニクス系」を設置しました。

これは電気電子系と情報科学・工学系を統合したもので、令和8年度の入学から対象のカリキュラムを実施するものです。

情報エレクトロニクス系では、情報技術とエレクトロニクス技術を基盤に、急速に高度化・融合が進むデジタル社会および半導体関連産業を支えるための知識・技能を体系的に学びます。本校が長年培ってきた実践的エンジニア教育を土台とし、時代の要請に応える人材育成を行います。

また、現在情報棟裏に「情報エレクトロニクス棟」を新設中です。令和9年2月の竣工予定で工事を進めております。

苦小牧高専は、情報エレクトロニクス系の設置を通して、地域産業および我が国の成長分野を支える高度実践技術者の育成に、今後も積極的に取り組んでまいります。



令和8年4月 情報エレクトロニクス棟建設の進捗状況

ネーミングライツパートナー及び広告パートナーについて

本校では教育研究環境の向上を図るための財源を確保することを目的として、令和8年1月から、保有施設のネーミングライツパートナー及び広告パートナーを募集しています。

3月に1回目の選考を行い、以下の4カ所の施設について、令和8年6月1日から、ネーミングライツパートナーが決定しています。

他の施設についても、契約手続き、並びに掲示物の設置が随時進められています。

施設名称	創造工学工房 (A104)	機械製図室 (D204)	基礎化学実験室 (F206)	第1ICT実習室 (H301)
パートナー	株式会社アクセスネット	三建設工業株式会社 北海道支店	北海道曹達株式会社	株式会社アクセスネット
愛称	Tech Lab MIRAI	SANKEN機械製図室	HOKUSO LAB	MIRAI Commons



教育理念

豊かな人間性および自主自律の精神を育成し、技術者に必要な知・徳・体のバランスのとれた成長を促し、社会の発展のために活躍できる人材を育てる。

本科学士の学習目標

- Ⅰ 人間性：正課、行事、課外活動等を通して、豊かな人間性と教養および自主自律の精神を身につける。
- Ⅱ 実践性：創造力の基礎として、実践力および将来に向けて自らを向上させる学習習慣を身につける。
- Ⅲ 国際性：世界に目を向ける姿勢と教養およびコミュニケーションの基礎能力を身につける。

創造工学科の目的

創造工学科は、工学分野共通の基礎を教育した上で、豊かで安全な未来を創造するための核となる専門分野とその周辺の知識と技術に関する実践的な教育を行い、豊かな人間性と自主性及び広い視野をもった人材を育成する。

専攻科学生の学習目標

- Ⅰ 人間性：他者と協働し、未来の社会に寄与する、豊かな人間性と教養及び広い視野を身につける。
- Ⅱ 創造性：工学分野における専門的な知識と経営的知識に加え、複数の視点で物事をとらえて新しい技術を創造する基礎力を身につける。
- Ⅲ 国際性：地域や国際社会で活躍するための教養とコミュニケーション能力及び相互理解の精神を身につける。

創造工学専攻の目的

専門知識や技術を基礎とし、経営的知識をもって社会変化に柔軟に対応して、新しい分野でも活躍できる実践的・複合的能力を養成する。

研究の目的・社会貢献の目的

学術の進展に教育内容を即応させるため、必要な研究を行う。
また、研究活動や地域への教育活動等を通して、地域・社会の発展に寄与する。

国際交流の目的

広く世界の文化について理解し、国際的視野をもって、世界や地域社会で活躍する実践的人材を育成することを国際交流の目的とする。また、教職員の国際感覚を磨き、グローバルかつ先進的な教育・研究を推進する。

学生課からのお知らせ

本校の学生課は、担当する業務によって5つの部署に分かれています。学生生活に直接関係のある各係の主な業務は次のようになっていますので、問い合わせや連絡は各係の直通電話をご利用ください。

なお、学生課には、保護者等の皆様などから、電話での問い合わせや連絡などが多数寄せられます。こうした電話に対して「担当係(担当者)に代わります。」などと、電話を回すことで、ご不便をおかけすることもあります。担当係(担当者)ごとに専門の業務を分担しておりますことをご理解願います。また、学生の呼び出しや伝言等の取り扱いについては、緊急を要するもの以外は行っておりませんので、ご承知おきください。

教務係

【直通電話】0144-67-8001

- 授業、試験に関すること
- 休学、復学、退学及び進級、卒業に関すること
- 在学証明書、成績証明書、卒業証明書などの学生の諸証明に関すること
- 学生証の申請に関すること
- 担任に連絡がつかなかった場合の欠席等の連絡

学生係

【直通電話】0144-67-8032

- 奨学金(日本学生支援機構等)に関すること
- 入学科、授業料の免除等に関すること
- 学生の保健管理(カウンセリングの申込等)に関すること
- 学生の課外活動、行事等に関すること
- 学生旅客運賃割引証及び通学証明に関すること

寮務係

【直通電話】0144-67-8002

【学生寮教員当直室】0144-67-8024 (夜間緊急用17:00~8:30)

- 学生の入寮及び退寮に関すること
- 寮費の徴収など諸経費に関すること
- 緊急の場合の外泊の連絡



図書係

【直通電話】0144-67-8905

- 図書の閲覧、貸出しに関すること
- 学術文献の収集及び提供に関すること
- ノートパソコンの貸与に関すること
- その他学術情報センターに関すること



キャリア教育センター

【直通電話】0144-67-8946

- 就職に関すること
- 進学(大学への編入学試験等)に関すること
- 企業・大学の説明会等に関すること
- その他進路に関すること



春光に映える樽前が輝くこの良き日、ここにご来賓並びにご関係の皆様のご臨席を賜り、令和七年度苫小牧工業高等専門学校本科卒業証書および専攻科修了証書を無事、授与出来ましたことを大変うれしく光栄に思います。

本科生百八十一名、専攻科生二十七名の皆さん、ご卒業ならびにご修了、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

また、これまで暖かく支えてくださった保護者の皆様、ご家族の皆様方にも、心からのお祝いとお敬意を表します。

本校本科卒業生は、これまでに九千名、また、専攻科修了生は五百名にのぼり、各界のリーダーとして、また高度な技術者をはじめ、大学・高専などの教員や研究者、企業経営者など幅広い分野で大いに活躍されています。皆さんも四月一日よりその一員として加わるようになります。

さて皆さんは本校において、十五歳の入学時から五年間にわたり専門的な知識や技術を学ぶとともに、多くの良き仲間と出会い、切磋琢磨しながら大きく成長したのを自身で、また保護者の方々も実感できていると思います。授業や実験・実習、課題研究、部活動や学校行事など、さまざまな経験を通して培ってきた力は、これから皆さんが歩む人生の大きな財産と

なることでしょう。

現代社会は、急速な技術革新を伴うグローバル化とともに大きく変化しています。特に工学・技術の分野においては、新しい発想と柔軟な思考、そして社会に貢献しようとする強い志が求められています。本校で身につけた専門性と問題解決能力を礎に、それぞれの道において変革の時代を牽引する技術者として活躍されることを期待しております。

アメリカの心理学者のアブラハム・マズローは人間の欲求を5段の階層に分類した『欲求五段階』を唱えています。この中で最も上位の五段階目は自己実現の欲求であり、自分の可能性を最大限に引き出し自己成長を目指すことです。技術者として最も大切なのは、人々の生活や社会をより良く幸福にするという使命感です。技術は、人の幸せや社会の発展のためにこそ活かされるものです。本校の教育理念は、「豊かな人間性および自主自律の精神を育成し、技術者に必要な知・徳・体のバランスのとれた成長を促し、社会の発展のために活躍できる人材を育てる。」ことでありますが、どうか皆さんは、常に広い視野と高い倫理観を持ち、この理念を胸に自ら進んでさまざまな社会課題を解決し、信頼される社会人として一歩一歩着実に自己実現をしていくと願っています。

本校は皆さんの母校です。社会で活躍する中で迷ったとき母校を訪れてみてください。そして是非成長した姿を見せても来て欲しいと思います。恩師をはじめ教職員一同は皆さんのさらなる飛躍をいつまでも応援しています。

結びに、卒業生・修了生の皆さんの前途が希望に満ちたものであること、そして皆さんが社会に大きく貢献されることを心から祈念し、告辞いたします。

令和八年三月十九日

苫小牧工業高等専門学校長 長野克則



GRADUATION PHOTO

卒業式写真



卒業生保護者からの言葉

5年間の歩みを讃えて

機械系卒業生／細門唯奈 《父》細門秀聡

この度高等専門学校の学びを修了されるみなさん、ご卒業おめでとうございます。

5年間という長い歳月を経て無事卒業を迎えられた事、保護者として胸が熱くなる思いです。中学卒業後の進路を地元の普通科高校ではなく苦小牧高専を選び、親元を離れての寮生活を始めた事は、親としては驚きと不安でいっぱいでした。15歳から20歳までの人生において最も多感な時期に大きな決断と挑戦をしたのだと感じています。コロナ禍という思いがけない試練も重なり、幾度となく心折れそうな事もありました。それでも、その都度先生方や友

人の皆さんに支えられ、悩みながらも前へ進み、学び続けてきました。努力と忍耐、一つ一つを積み重ねて卒業を迎えられた事は何よりの誇りです。これから始まる新たな生活の中でも、この5年間で培った力を信じ、周りの方々への感謝を忘れず、確かな歩みを続けられるよう願っております。



一步踏み出す

都市・環境系卒業生／高屋良多 《父》高屋 晃

学生の皆様、ご卒業おめでとうございます。あっという間の5年間の経ち、晴れてこの日を迎えられ、担任である渡辺先生をはじめ学校関係者の皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。

私どもは地方からこちらの学校に入学させていただき、地元の小中学校では生徒数も少なく部活動も経験して9年間通学してきました。進学時は環境の変化が必要と思い、良多には自宅から寮生活という団体生活に不安もありましたが自立心を持って最後まで元気に頑張ってくれたことを両親共に感謝しています。

ご卒業される皆様へ、高みを目指すことも大事ですし前進することも大事ですが、時には目線を下げることで思いやりを持ち、一旦

止まって振り返ってみることも人生にとって大切なことだと実感しています。これから社会に出ることになりますが、就職先や進学先で上司や先輩に対して返事や挨拶は基本ですから、自ら一步踏み出す気持ちを持って頑張ってください。



学会賞・高専賞 受賞者一覧



特別功労賞

都市・環境系 吉原 ゆい

応用化学・生物系 羽川 綺香

電気電子系..... 武内 哉太

この賞は、クラス活動、学生会活動あるいは寮生活会活動の指導者等で顕著な功績を収め、他の学生の模範となる者に対し、その功績をたたえ贈られるものです。

学会賞

日本機械学会ばいけがく 山賞

機械系..... 白戸 柚輝

全国高専土木工学会近藤賞

都市・環境系 清野 陽

日本化学会北海道支部長賞

応用化学・生物系 佐々 湖遥

電気学会北海道支部長賞

電気電子系..... 桑原 聡汰

情報処理学会北海道支部工業高等専門学校奨励賞

情報科学・工学系 本間 大馳

精密工学会北海道支部学生奨励賞

創造工学専攻..... 青沼 奏志

VOICES of Graduates 卒業生・修了生からの言葉

高専生活を振り返って

5年1組 野澤 玲音



私たちが入学したときは、まだコロナ禍でマスク着用、遠隔授業の日々でした。友達作りもままならない中、2年生での系配属を迎え、5年間という月日はあっという間に過ぎていきました。

入学前に思っていたよりも、課題やレポートは簡単なものではありませんでした。私が無事に卒業できたのは、周りの優秀な友人たちや優しい先生方のおかげであります。

高専に入って後悔したことは1度もありませんでした。それは、クラスや部活、アルバイトなどで多くの人たちとの関わりが出来たからです。その関わりの中で、私は自分のやりたいことや卒業後の進路などが見えてきました。さらに、この関わりを一生大切にしようと思えました。

私は高専生活5年間、部活や学習面で、多くの壁にぶつかりました。そんなとき支えてくれた、クラスメートや先輩、後輩、先生方に家族といった多くの方々に感謝いたします。



贈る言葉

5年3組 山本 旺介



私が高専を志したのは小学校高学年の時でした。当時は特にどの系に入りたいなど具体的な目標はありませんでしたが、高専という存在に憧れていました。応用化学・生物系に入りたいと思ったのは中学2、3年生の化学の授業が面白かったからです。

普通高校に通う友達の多かった私は高専生活5年間をとて長い時間だと感じました。英語の資格を取ったり、旅行に出掛けたり…。また、3年次には仲間と協力して白金触媒について研究し、賞を頂きました。この長い時間を有効に使って、様々なことに挑戦することが出来ました。現状維持と安定が好きで自分が「挑戦」するためには、そっと背中を押してくれるたくさんの仲間の存在が不可欠でした。

高専は、通常、出会えない個性的な仲間と共に学生生活を送る事のできる唯一無二の学校です。そんな仲間と協力して、時には競って、素晴らしい高専生活を送れることを願っています。

最後に、高専生活に関わってくださった全ての方々に感謝申し上げます。5年間、本当にありがとうございました。

高専生活を振り返って

5年5組 本間 大馳



高専での5年間は、振り返ると本当にあっという間でした。入学した当初は、周囲のレベルの高さに圧倒されることもありましたが、プログラミングの授業では、ほんの1文字のミスでエラーが出続け、その原因を見つけるのに何時間もかかったことを今でも覚えています。実験や課題、レポートに追われる日々は決して楽なものではありませんでしたが、その一つひとつが確実に自分の力になっていきました。行事や友人との何気ない会話も含めて、すべてがかけがえのない時間だったと感じています。

また、どんなに難しい課題でも、一人ではなく仲間と取り組むことで乗り越えられるということを実感しました。互いに教え合い、励まし合い、ときには意見をぶつけ合いながら成長できたことは、技術以上に大きな財産です。支えてくださった先生方の熱心な指導や、陰で見守ってくれた家族の存在にも、改めて感謝の気持ちでいっぱいです。

後輩の皆さんへ。高専生活は決して楽な道のりではありませんが、本気で向き合えば必ず自分の力になります。失敗を恐れず、疑問を大切にし、自分の手で考え抜いてください。そして、仲間との時間を何よりも大切にしてください。この場所での経験は、将来どんな道に進んでも必ず支えになります。皆様の高専生活が「実り多きもの」となることを、心より願っております。

高専5年間のすゝめ

5年2組 中谷 篤拓



高専での5年間を振り返ると、想像していた以上に自由な時間があつたと感じます。そう聞くと意外に思う人もいるかもしれませんが、その時間を生み出す一番のコツは、課題やレポートをその日のうちに進めることでした。

私は都市環境系で週1回出される構造力学の課題を授業当日に提出するよう心がけ、実験レポートも結果だけでもその日のうちに整理するようにしていました。逆に、それを後回しにしたときは、課題の提出期限を過ぎてしまったり、午前4時まで起きてレポートを書いたりしたこともありました。

その積み重ねによって時間をつくることができ、オーケストラでの活動やニュージーランド研修など、勉強以外のことにも挑戦できました。高専の5年間は、自分の好きなことに本気で打ち込める貴重な時間です。皆さんもその時間を大切にしながら、楽しく充実した高専生活を送ってください。



高専生活を振り返って

5年4組 坂爪 亮介



入学当初、5年間という長い月日を前にして、これから始まる未知の専門分野への学びに大きな期待を抱いていたことを今でも鮮明に覚えています。実際に始まった高専生活は、想像以上に専門性が高く、膨大な課題や高度な試験の連続でしたが、それらは決して苦痛ではなく、知的好奇心を刺激される充実した毎日でした。

日々の講義や実習を通じて、一つずつ知識を積み上げ、技術を自分のものにしていく過程には、他では味わえない達成感がありました。受け身で学ぶのではなく、自ら課題を見つけ、主体的に取り組んできた経験は、今の私にとって揺るぎない自信へとつながっています。

また、同じ志を持ち、共に高め合える友人たちと過ごした時間は、何物にも代えがたい財産です。切磋琢磨し合える環境があつたからこそ、常に高いモチベーションを維持し続けることができました。

最後になりますが、熱心にご指導くださった先生方、そして常に温かく支えてくれた家族に深く感謝いたします。この5年間で培った専門知識と挑戦する心を糧に、新しい舞台でも力強く歩んでいきたいと思います。

7年間を振り返って

専攻科2年 応用化学・生物系 宇山 諒



私は7年間の在学中で「全てを投げ出したい」と思ったことが何度もあります。本科ではレポートや難しくなる授業に追われ、専攻科では研究に悩まされる日々を過ごしました。特に専攻科では余裕がなく、先が見えず不安になることもありました。しかし、同級生や先輩後輩と助け合う中で、身近な人の大切さを知りました。ここまで続けてこられたのは、関わってくれた多くの方々の支えがあつたからです。

学生生活を通して、思い通りに進まなくても、悩みながら前に進めば、物事は意外となんとかなるのだと学びました。すぐに答えが見つからないこと、1人で頑張らなければならない場面、価値観の違いに悩むこともありましたが、そうした経験を重ねる中で、今、これまでを振り返ると、良くも悪くも時間はあっという間に過ぎ、気づかないうちに自分が成長していたのだと感じます。

学生生活は、これからの自分を支えてくれる大切な足場になるはずです。どうか、自分を信じて頑張ってください。

本校専攻科生が電気学会の優秀論文発表賞を受賞しました

本校専攻科1年生の中野敏清さんが、電気学会の優秀論文発表賞を受賞しました。この表彰は北海道室蘭市で開催された令和7年度電気・情報関係学会北海道支部連合大会での以下の発表に対するものです。

- 発表者：中野敏清(苫小牧高専専攻科1年生)、奥山由(苫小牧高専)菅原広剛(北海道大学)
- 発表タイトル：モンテカルロシミュレーションを用いた3体衝突による電子付着の衝突断面積の検討



とまこマイクラフトに本校学生が協力しました

「とまこマイクラフト」が、苫小牧市表町のCOCOTOMAーコトマーで、2026年1月25日から2月21日にかけて全5日間の日程で開催されました。苫小牧市が主催し、エデュテイメント(教育×エンターテインメント)で社会課題解決を目指す、スタートアップ企業のSOZOW株式会社が運営するこのイベントは、「未来の苫小牧駅前をマイクラで表現しよう」をテーマに、子どもたちが夢になる「Minecraft(マイクラフト)」を使って、苫小牧市の“未来のまちづくり”に挑戦する探究プログラムです。

この期間、苫小牧の子どもたち5名×3グループが苫小牧駅前の賑わいを復活させるために、アイデア出しやディスカッションし、そのアイデアをマイクラフトで具現化していきました。

このイベントには苫小牧高専が協力として携わり、本校専攻科生2名が講師として、長野校長が審査員として参加しました。

子どもたちは、各グループとも日を追うごとに積極的に意見を出し合い、マイクラフトでの作業を助け合うようになり、最終日には多くの観客の前でメンバー全員で協力して未来の苫小牧についてプレゼンテーションを行っており、子どもたちがまちづくりに興味を持つ良い機会となりました。

本校はこれからも地域に根付いた高専として地域連携・産学連携活動を推進してまいります。



人事異動

○令和8年3月31日付

教育職員

【定年退職】

創造工学科准教授(応用化学・生物系担当) 奥田 弥生

【配置換】

創造工学科教授(総合自然科学系担当) 村本 充
(高知工業高等専門学校長)

事務職員・技術職員

【辞職】

技術教育支援センター技術専門職員 郡 貴志

【雇用期間の満了】

特命准教授 豊島 大治
学生課学生係非常勤看護師 相原 雅子
学生課寮務係事務補佐員(寮母) 美坂 直美
学生課図書係事務補佐員 大沢 岬紀
学生課図書係事務補佐員 山本 惣太
研究支援員(松尾准教授研究室) 土居 真澄

○令和8年4月1日付

教育職員

【採用】

創造工学科准教授(応用化学・生物系担当) アルテアガ アルテアガ フェルナンド

創造工学科助教(機械系担当) 小島 伊織

【配置換】

創造工学科教授(機械系担当) 金子 友海
(総合自然科学系教授)

創造工学科准教授(補工外工系(職制)システム系) 赤塚 元軌
(機構本部事務局付(タイ高専)准教授)

創造工学科准教授(総合自然科学系担当) 須藤 絢
(函館工業高等専門学校一般系准教授)

【昇任】

創造工学科准教授(総合自然科学系担当) 上場 一慶

【再雇用】

創造工学科特任准教授(応用化学・生物系担当) 奥田 弥生

【再雇用更新】

創造工学科特任教授(機械系担当) 菊田 和重
創造工学科特任教授(応用化学・生物系担当) 平野 博人
創造工学科特任教授(総合人文科学系担当) 山際 明利

事務職員・技術職員

【採用】

特命准教授(二橋教授研究室) メンサビガン ジョエル セバスチャン

総務課施設管理係臨時用務員 橋本 伸明
学生課学生係非常勤看護師 塩崎 享子
学生課図書係事務補佐員 今 琉音
学生課図書係事務補佐員 林 晏輝
事務補佐員(有馬准教授研究室) 須坂 郁哉
事務補佐員(有馬准教授研究室) 清野 裕太

【昇任】

技術教育支援センター技術専門職員 石川 勇人
(技術教育支援センター技術職員)

技術教育支援センター技術専門職員 岸本 亮太
(技術教育支援センター技術職員)

【配置換】

学生課専門職員(キャリア支援担当) 小川 靖之
(学生課専門職員(寮務企画担当))

学生課教務係主任 小田 涼太
(学生課学生係主任)

学生課寮務係主任 今野 みちる
(学生課教務係主任)

【再雇用更新】

技術教育支援センター嘱託職員 蘇 武栄治



令和7年度本科卒業生及び専攻科修了者の進路状況

令和7年度卒業生進路状況							
系	機械系	都市・環境系	応用化学・生物系	電気電子系	情報科学・工学系	合計	
求人社数	653	530	463	673	612	2,931	
卒業生数	男	37	34	23	25	32	151
	女	3	9	12	3	3	30
進学者数	男	14	14	6	9	10	53
	女	0	2	7	0	1	10
企業等	男	23	20	16	16	22	97
	女	3	6	5	3	2	19
公務員	男	0	0	0	0	0	0
	女	0	1	0	0	0	1
進学先	北海道大学 室蘭工業大学(3) 長岡技術科学大学(2) 豊橋技術科学大学(2) 九州大学 苫小牧高専専攻科(5)	北海道大学(2) 室蘭工業大学(5) 長岡技術科学大学(2) 豊橋技術科学大学(2) 岐阜大学 徳島大学 島根大学 鳥取公立大学 苫小牧高専専攻科	北海道大学 室蘭工業大学(2) 長岡技術科学大学(3) 豊橋技術科学大学 千歳科学技術大学 苫小牧高専専攻科(5)	長岡技術科学大学(3) 苫小牧高専専攻科(6)	室蘭工業大学(2) 長岡技術科学大学 豊橋技術科学大学(4) 苫小牧高専専攻科(4)		
就職先	(株)ダイナックス(2) 北海道ガス(株)(2) 池上通信機(株) いすゞエンジン製造北海道(株) オークマ(株) キンピール(株)千歳工場 三建設備工業(株)北海道支店 サントリーホールディングス(株) GEヘルスケアジャパン(株) (株)JERA ジャパンマリンユナイテッド(株) (株)JALエンジニアリング 新日本空調(株) SUBARUテクノ(株) ダイキンエアテクノ(株) (株)タマディック 東京水道(株) TOPPAN(株) トーテックアメニティ(株) 西田鉄工(株) (株)NIPPO パナソニックオペレショナルエクセレンス(株) フードテクノエンジニアリング(株) (株)メテック	岩田地崎建設(株)(3) (株)銭高組(3) (株)熊谷組(2) 株大林組 (株)奥村組 基礎地盤コンサルタンツ(株) 北日本港湾コンサルタンツ(株) 極東興和(株) (株)鴻池組 (株)J-POWERハイテック (株)シビテック 大成ロテック(株) 鉄建建設(株) (株)中山組 西江建設(株) 西松建設(株) (株)ネクスコ・エンジニアリング北海道 ピーエス・コンストラクション(株) RitaX(株) 日本交通技術(株) (株)マキシング 北海道開発局	第一三共ケミカルファーマ(株)(4) (株)カネカ(2) 出光興産(株) 北海道製油所 UBEエラストマー(株) 王子マテリア(株) (一財)材料科学技術振興財団 東亜石油(株) (一社)日本血液製剤機構 (株)日本触媒 日本ゼオン(株) 日本たばこ産業(株) 浜理PFST(株) (株)フルヤ金属 北海道住電精密(株) (株)北海道LIXIL製作所 (株)レゾナック レンゴー(株)	いすゞエンジン製造北海道(株)(3) 出光興産(株) 北海道製油所(2) 北海道電力(株)(2) 旭化成(株) ウェルネット(株) エア・ウォーター北海道(株) (株)NTT-ME 三機工業(株) (株)三社電機製作所 サントリーホールディングス(株) シンセメック(株) 中部電力(株) 日本電気計器検定所北海道支社 富士フイルム(株) 三菱電機ビルソリューションズ(株)	ソフトバンク(株)(2) (株)アクセスネット アクセンチュア(株) アマゾンジャパン(合) ウナルステクノロジー(株) (株)エスピーイー NECネットエスアイ(株) (株)クボタ (株)クレスコ CLINKS(株) (株)Jストリーム 東芝ITサービス(株) 日本アイ・ビー・エムデジタルサービス(株) パーソルクロステクノロジー(株) (株)ハイマックス パナソニックオペレショナルエクセレンス(株) (株)ベオスアイティホールディングス 北都システム(株) はくでん情報テクノロロジー(株) 富士電機(株) 村田機械(株) (株)メンバーズ Rapidus(株)		

令和7年度本科卒業生及び専攻科修了生の進路状況について

令和7年度キャリア教育センター長 二橋 創平

本科対象の求人社数数は今年度も高い水準で推移しており、専攻科対象の求人についても堅調な状況が続いています。最近5年間では、本科対象の求人社数数は2025年度2,931社、2024年度2,425社、2023年度2,382社、2022年度2,348社、2021年度2,689社となっております。専攻科対象の求人社数数は、2025年度1,290社、2024年度745社、2023年度528社、2022年度522社、2021年度1,084社となっております。

また、本科卒業生181名の進路状況は、道内就職40名、道外就職77名、進学63名となりました。専攻科修了生についても、それぞれの希望や適性に応じた進路を実現しております。

近年、企業においては慢性的な人手不足を背景に、人材確保のための待遇改善や職場環境の整備、業務効率化への取り組みが進められています。その一方で、産業構造の変化や事業再編の動きも見られ、就業環境は今後も変化していくことが予想されます。さらに、AI技術をはじめとするデジタル技術の急速な進展により、社会や産業のあり方、求められる知識・技能も大きく変わりつつあります。

このような時代において重要なのは、専門的知識や技術に加え、変化に柔軟に対応し、自ら学び続ける力を身につけることです。将来にわたって主体的に自らのキャリアを考え、選択し、切り拓いていくための基礎を、高専在学中にしっかりと育むことが求められています。

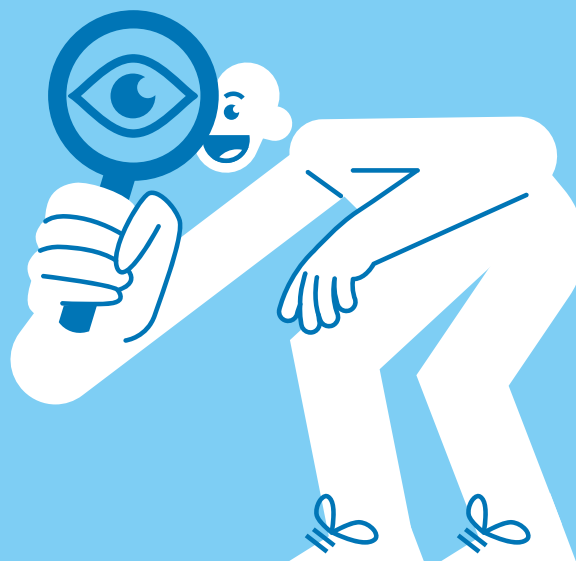
本校では、キャリア講話、創造工学、ホームルーム等の教育活動を通して、コミュニケーション力、多様な価値観への理解、自己理解、将来を見通す力など、社会で必要とされる資質・能力を育成できるよう、「組織的」「系統的」なキャリア教育の一層の充実に取り組んでまいります。

令和8年度も引き続き、苫小牧高専同窓会である「樽前会」、ならびに本校を支援してくださる地元企業を中心とした「協力会」と連携しながら、キャリア教育の充実に努めてまいります。今後の社会の変化に対応し、本校の卒業生・修了生が引き続き社会で活躍できるよう、教職員一同、より一層努力してまいります。

高専通信

Vol.171
CONTENTS

1	新入生へ贈る言葉
2	在校生からのメッセージ
3	各副校長ご挨拶
4	新任教員挨拶
5	第1学年担任からのメッセージ 学生会の紹介
6	新留学生紹介
7	教育理念・学習目標等 学生課からのお知らせ



8	情報エレクトロニクス系新設 ネーミングライツ
9	卒業生・修了生へ贈る言葉
10	卒業式写真
11	卒業生・修了生からの言葉
12	卒業生保護者からの言葉 学会賞・高専賞受賞者一覧
13	進路状況
14	TOPICS 人事異動

編集後記

今回の高専通信第171号では、令和7年度末から令和8年度当初にかけてのさまざまな活動の様子をご紹介します。誌面には、卒業式と入学式の様子もあわせて掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

新入生および保護者の皆様におかれましては、歓迎の気持ちとともに、卒業生・修了生の言葉にも触れていただき、これから始まる5年間に思いを巡らせていただけたら幸いです。

さて、このページにもQRコード等が掲載されておりますが、このたび苫小牧高専公式Instagramを開設いたしました。本アカウントでは、苫小牧高専の日常の様子を皆様にお届けしてまいります。教職員だけでなく学生からの投稿も随時受け付けており、多様な視点から本校の魅力を感じていただければと考えております。

今後の発信にもどうぞご期待ください。

また、Instagramのアカウントをお持ちの方は、ぜひフォローいただけますと大変うれしく存じます。

総務課専門職員 吉田智昭

〔高専通信に関するお問い合わせ先〕
苫小牧工業高等専門学校 総務課総務係
〒059-1275 苫小牧市字錦岡443 TEL.0144-67-0213
〔MAIL〕 pub_info@tomakomai-ct.ac.jp



Instagram
開設しました。



UI Design - stock.adobe.com